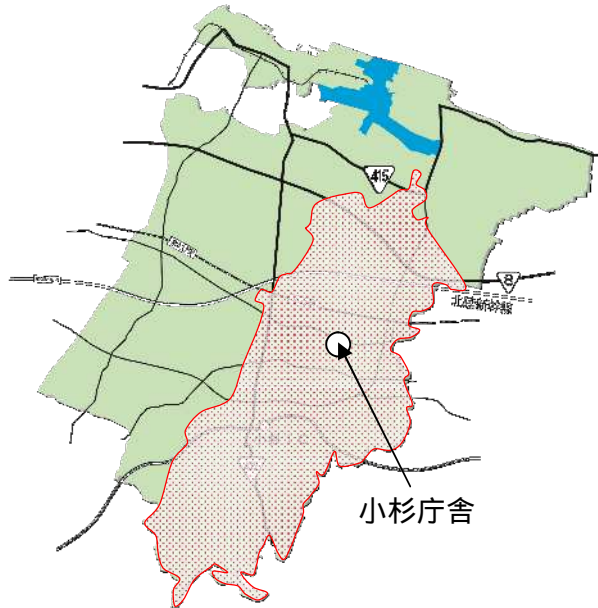


## 4 小杉地域の概要と立地特性

### 1) 対象エリア



#### 関連計画における小杉庁舎周辺地域の 位置付け

資料 4 - 2 参照

新市建設計画（平成 17 年 1 月）

中部・地域拠点

中央・都市ゾーン

総合計画（平成 20 年 3 月）

都市地域

都市計画マスタープラン（平成 22 年 3 月）

既存ストックを活かした、コンパクト  
で賑わいのあるまち

### 2) 小杉庁舎敷地・建物の概況

資料 4 - 2 参照



#### 庁舎敷地概要

敷地面積	18,036 m <sup>2</sup>
用途地域	第二種住居地域
容積率 / 建ぺい率	200% / 60%

#### 庁舎建物概要

昭和 51 年 3 月建築（36 年経過）
鉄筋コンクリート造、地上 4 階建
庁舎本館延床面積 4,500 m <sup>2</sup>

### 3) 人口

小杉地域の人口は、33,203 人（平成 22 年国勢調査）で、市総人口の 35.5% を占めており、地域別では最も人口の多いエリアとなっている。

平成 22 年の生産年齢人口（15 歳以上 64 歳未満人口）の割合は 64.2% で、市全体（61.8%）に比べて高い傾向にある。

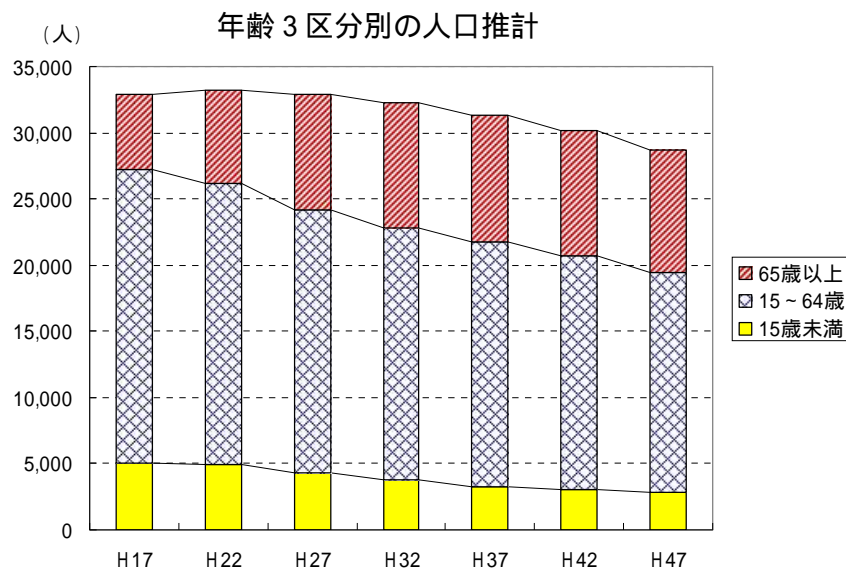
高齢化率（65 歳以上人口の割合）は、平成 22 年で 21.1% となっており、市全体（24.0%）に比べて低いものの、他地域と同様徐々に高くなり、平成 47 年では市全体とほぼ同程度

になると見込まれる。

### 小杉地域の人口推計

	人口(人)				割合(%)		
	人口総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
平成17年(2005年)	32,948 (94,209)	5,012 (13,537)	22,222 (60,847)	5,692 (19,803)	15.22 (14.37)	67.49 (64.6)	17.29 (21.03)
平成22年(2010年)	33,203 (93,588)	4,890 (13,315)	21,211 (57,654)	6,963 (22,399)	14.79 (14.26)	64.15 (61.75)	21.06 (23.99)
平成27年(2015年)	32,920 (91,594)	4,357 (12,081)	19,823 (53,203)	8,740 (26,310)	13.24 (13.19)	60.22 (58.09)	26.55 (28.72)
平成32年(2020年)	32,270 (88,589)	3,734 (10,595)	19,089 (50,667)	9,447 (27,327)	11.57 (11.96)	59.15 (57.19)	29.27 (30.85)
平成37年(2025年)	31,330 (85,030)	3,263 (9,216)	18,486 (48,904)	9,581 (26,910)	10.41 (10.84)	59.00 (57.51)	30.58 (31.65)
平成42年(2030年)	30,133 (81,044)	3,044 (8,629)	17,687 (46,506)	9,402 (25,909)	10.10 (10.65)	58.70 (57.38)	31.20 (31.97)
平成47年(2035年)	28,668 (76,744)	2,866 (8,176)	16,583 (43,571)	9,219 (24,997)	10.00 (10.65)	57.84 (56.77)	32.16 (32.57)

平成17年、22年は国勢調査人口。各年下段( )書きは市全体の数値



推計方法：平成22年国勢調査を基準とし、0～4歳人口は子ども女性比の仮定値によって推計し、5歳以上の年齢階級の人口はコーホート要因法を用いて推計した。

### 4) 事業所の状況

小杉地域には1,527事業所があり、市全体(4,586事業所)の約3割を占めている。

業種別の構成比を市全体と比較すると、学術研究、専門・技術サービス業が3.3%(市全体2.4%)、宿泊業、飲食サービス業が9.2%(同8.5%)、教育、学習支援業が4.5%(同

3.3%)となっており、やや高い割合となっている。一方で製造業は6.4%(同10.5%)となっており低い割合となっている。

小杉地域の事業所数(民営事業所)

	農林漁業	建設業	製造業	情報 通信業	運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	不動産業、 物品賃貸業	学术研究、 専門・技術 サービス業
小杉地域 (構成比)	6 (0.4)	184 (12.0)	98 (6.4)	10 (0.7)	61 (4.0)	481 (31.5)	21 (1.4)	57 (3.7)	51 (3.3)
射水市 (構成比)	30 (0.7)	591 (12.9)	483 (10.5)	22 (0.5)	174 (3.8)	1,411 (30.8)	66 (1.4)	121 (2.6)	110 (2.4)

(つづき)

	宿泊業、 飲食 サービス業	生活関連 サービス業 、娯楽業	教育、 学習支援業	医療、 福祉	複合 サービス業	サービス業 (他に分類さ れないもの)	その他	合計
小杉地域 (構成比)	140 (9.2)	134 (8.8)	68 (4.5)	87 (5.7)	17 (1.1)	109 (7.1)	3 (0.2)	1,527 (100.0)
射水市 (構成比)	390 (8.5)	386 (8.4)	150 (3.3)	236 (5.1)	53 (1.2)	354 (7.7)	9 (0.2)	4,586 (100.0)

資料：経済センサス 基礎調査(平成21年)より作成

5) 主要施設等の立地状況 資料5-5、参考資料4、参考資料5参照

庁舎周辺には、中央図書館、歌の森運動公園、アイザック小杉文化ホールが設置されており、市内外から多くの来訪がある。

上記のほか、庁舎の周囲半径500m以内には、小杉体育館、小杉勤労青少年ホーム、小杉保健センターも設置され、主要施設が集積している。このうち、小杉体育館と小杉勤労青少年ホームは、旧耐震基準の建物となっている。

このエリアには、小杉高等学校、富山福祉短期大学、富山県立大学などの学術機関が多く設置されている。

(参考) 図書館蔵書冊数及び利用状況(平成22年度実績)

	蔵書冊数	貸出者数(延べ)	貸出図書数(個人)
中央	152,260冊	60,533人	253,017冊
新湊	94,401冊	26,324人	97,914冊
正力	69,686冊	14,182人	44,226冊
大島	38,883冊	10,481人	43,797冊
下村	33,813冊	20,606人	102,298冊

資料：平成23年度版射水市統計書

(参考) 歌の森運動公園の利用状況 (平成 22 年度実績)

施設名	利用日数	利用者数
多目的グラウンド	104 日	12,004 人
テニスコート	202 日	9,079 人
野球場	59 日	11,681 人

資料：平成 23 年度版射水市統計書

(参考) 文化会館・ホール等の利用状況 (平成 22 年度実績)

施設名	来館者数
アイザック小杉文化ホール	99,479 人
高周波文化ホール	60,556 人
大門総合会館	60,063 人

資料：平成 23 年度版射水市統計書

(参考) 主要体育館の利用状況 (平成 22 年度実績)

施設名	利用日数	利用者数
アルビス小杉総合体育センター	310 日	78,211 人
小杉体育館	314 日	82,811 人
新湊アイシン軽金属スポーツセンター <sup>1</sup>	309 日	103,198 人
大門総合体育館	311 日	59,255 人
ヨシダ大島体育館	306 日	48,405 人
下村体育館	305 日	20,709 人

1 武道館とテニスコートの利用を含む。

資料：平成 23 年度版射水市統計書

## 6) 公共交通

小杉庁舎から約 1 km 北には、JR 北陸本線の小杉駅が設置されている。

小杉庁舎前には平成 24 年 10 月 1 日現在で 1 路線、一日 12 便のコミュニティバスが到着している。(小杉地区循環線)

JR 北陸本線の利用状況 (平成 22 年度)

	小杉駅		越中大門駅	
	年間計	1 日平均	年間計	1 日平均
乗降人員	1,116,778 人	3,060 人	299,229 人	820 人

資料：平成 23 年度版射水市統計書

コミュニティバスのルート図



## 7) 利活用に関するこれまでの意見等

庁舎周辺に教育機関、文化施設、体育施設等が集積していることを踏まえた利活用策を検討してほしい。

子どもや高齢者が共に憩える場などとして現庁舎を活用してほしい。

総合的な福祉の拠点施設として活用してほしい。

## 4 - 1 小杉庁舎跡地等の利活用の方向性